

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	橋梁管理事業			コード	141208
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	土木課	作成者 中楯博一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備
		予算科目	橋梁維持補修費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	道路法 河川法		

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	橋梁利用者（通行者）のために、市内にある橋梁を良好な状態に維持するため、定期的な点検を実施し、破損箇所等を発見した場合は、補修を迅速に行う。		
目的	対象者	橋梁利用者	
	意図	将来的な財政負担の提言と、道路交通の安全確保	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>原沢第三橋他2橋の橋梁補修工事を実施 大橋他4橋の橋梁補修設計業務を実施 西山跨道橋他40橋の橋梁点検業務を実施 中央町一・二丁目歩道橋（岡谷746号線）の清掃業務を実施 岡谷駅歩道橋（岡谷749号線）の清掃業務並びに電気工作物保安業務を実施。</p>		
前年度の課題への対応	<p>交付金を活用して西山跨道橋他40橋の橋梁点検を実施するとともに、岡谷市にある道路橋全橋において、第1期目の点検が平成30年度に終了する計画を立てた。</p>		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)	
① 直接事業費	25,133,921	51,150,855	58,590,389	74,700,000	
経常経費	1,229,213	797,213	851,213	900,000	
臨時的経費	23,904,708	50,353,642	57,739,176	73,800,000	
* 臨時的経費の説明	交付金を活用した、橋梁点検業務や橋梁修繕工事関連				
② 人件費	9,600,000	9,600,000	5,600,000	5,600,000	
正規職員の人数(人)	1.20	1.20	0.70	0.70	
③ 合計コスト(①+②)	34,733,921	60,750,855	64,190,389	80,300,000	
前年度比		174.9%	105.7%	125.1%	
財源内訳					
一般財源	11,988,921	24,140,855	18,566,389	19,875,000	
特定財源	22,745,000	36,610,000	45,624,000	60,425,000	
* 特定財源の説明	社会資本整備総合交付金、公共事業等債				
④ コストに関する補足説明					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
社会資本整備総合交付金	件数	1	3	9	3
	金額	13,145,000	27,610,000	31,724,000	40,425,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	13,145,000	27,610,000	31,724,000	40,425,000
	割合	52.30%	53.98%	54.15%	54.12%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること) 平成26年度に改正された道路法等において、道路橋の点検は、必要な知識及び技能を有する者が行うことし、近接目視により、5年に1回の頻度で行うことが義務づけられことから、橋長が短い橋梁は、職員が橋梁点検を実施することが効率的である。このため、必要な知識や技能を有する職員不足が課題となっている。
	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 国や県が実施している研修会へ参加し、必要な知識や技能を身につける。
改善方法	
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	--	---